



ひがしの子

令和6年12月24日
岐阜市立岐阜東幼稚園
園長 広瀬 みゆき

2学期もご理解ご協力くださり、ありがとうございました！

たいよう組さんの疑問が解決しました！

たいよう組では、園の周りの側溝で捕まえた生き物を育てています。たくさん捕ったヤゴや魚の中には、死んでしまったりしたものもありました。捕まえたときに、名前がわからない魚がいたら、自分たちで図鑑で調べていました。しかし、わからない魚もありました。すると、Aくんは、「先生、魚の写真ちょうだい！じいちゃん、詳しく聞いてみる！」と言っていました。そこで、何人かの子が、写真を持ち帰り、お家の方に尋ねることをしました。Aくんの発想、とても素敵ですね。もちろん、自分でいろいろな方法で調べて



解決していくことも大切な経験です。でも、子どもたちの周りには、多くの大人たちがいます。そんな大人たちに力を借りることも一つの方法です。人とかかわりの中で解決していくことは、大事な力だと思います。そして、「僕のじいちゃんは魚に詳しい」と誇らしげに伝えられる姿も素敵だと思いました。

自分たちで、これだと思うものにシールを貼って予想をしてみました。しかし、周りの大人たちの力を借りても名前はわかりませんでした。魚に詳しい幼児教育課の先生にお尋ねしましたが、稚魚の時は、色なども似ていてははっきりしないとのことでした。謎の魚は死んでしまったのですが、名前を知りたい気持ちはずっと続いていました。答えが見つからず行き詰ってしまったので、岐阜市役所の「環境保全課」の方に相談しました。環境保全課は、達目洞の遠足にも来てくださる課です。相談したところ、園において下さることになりました。とても楽しみにしていた子どもたち。質問もたくさん考えていましたよ。



環境保全課の方は、謎の魚の写真や死骸（乾燥したもの）を見て、すぐにわかったようです。（さすがですね。）

子どもたちに名前を教えてくださいました。謎の魚の正体は「タモロコ」でした。「オйкаワのメス」と予想をしていた子が一番多かったのですが、「タモロコ」と予想した子は3人だけでした。大人も子どもも魚の名前がわかって、嬉しそうでした。（名前がわかり、すっきりしました。）

その他にも、「ザリガニがあまり動かないのはどうして？」とか、「ドジョウがいつもトンネルの中にいるけど、どうして？」

とか、「ヤゴがたくさんいたのに、一度に死んでしまったのはどうして？」「この生き残った大きいヤゴは何？これからどうしてあげたらいいの？」などたくさん質問していました。一つ一つ丁寧に答えさせていただきました。たくさんの疑問が解決していき、とても充実した時間になりました。

私たちの質問に答えてくださるだけでなく、外来種の話など、環境保全につながるお話もしてくださいました。

身近な自然、自分たちの体験から、さらに自然に興味をもち、環境を守っていくことにも気持ちが向いていくことにつながっていくことを感じました。



《1月の保育について》

【3歳児】

<ねらい>

- いろいろなお正月遊びに興味をもつ。
- 気の合う友達と一緒に同じ遊びをして楽しむ。

【4歳児】

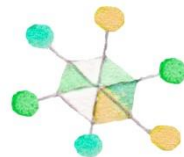
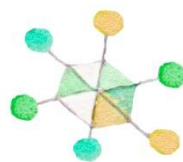
<ねらい>

- 自分なりの表現を楽しんだり、いろいろなことに挑戦したりする。
- 友達の思いを聞いて理解しようとする。

【5歳児】

<ねらい>

- 友達と考えを出し合いながら遊びを進めることの楽しさを感じる。
- クラスみんなで一つの目的に向かって取り組む楽しさを味わう。



明日から14日間の冬休みが始まります。子どもたちには、終業式で気を付けることや、お正月にかかわるクイズなどをお話しました。

インフルエンザも流行しています。どうぞ、ケガや病気に気を付け、元気で楽しい年末年始をお過ごしください。

2学期も、温かいご支援、ご協力くださりありがとうございました。

3学期もよろしくお願いいたします。